

第66回景況アンケート調査 結果報告書

(令和7年4月7日作成)

足利商工会議所

足利市通3丁目2757

TEL0284-21-1354 Fax0284-21-6294

《令和 7年 1月～ 3月期》実 績
《令和 7年 4月～ 6月期》見通し

調 査 要 領

1. 調査目的

本調査は、当所管内事業所の経済動向及び現状を把握し、今後の経営支援や関係機関への施策、要望等の参考に資することを目的とする。

2. 調査期間

令和7年2月3日(月)～2月28日(金)

3. 調査対象企業

足利商工会議所議員事業所、足利地区雇用協会事業所など市内主要企業210社
(うち回答企業数175社：回答率83.3%)

4. 回答企業数

製造業	62	社
繊維工業	16	社
建設業・設備工事業	30	社
卸売業・小売業	28	社
飲食業・サービス業	39	社
計	175	社

5. 景況指数DIについて

分析方法[景況動向指数(DI)による]

景況指数は、好況・不況の差を指数にしたものであり、基準指数が「0」で、上限はプラス100・マイナス100となり、プラスは景況の好転(増加)、マイナスは景況の悪化(減少)をあらわしている。

DIについては数値の水準のみならず、数値の変化がどういう方向を向いているかが重要になっている。

DI方式は、
$$\frac{3x - 3z}{3x + 4y + 3z} \times 100$$
により算出

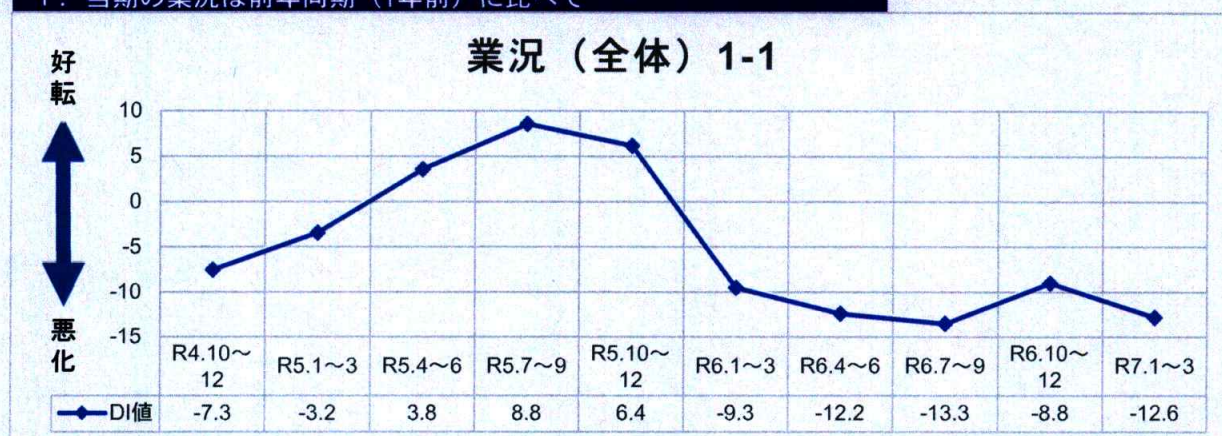
x：「好転」「増加」「上昇」等の回答企業数

y：「普通」「適正」の回答企業数

z：「悪化」「減少」「下落」等の回答企業数

1. 当期（令和7年1月～3月）の景況について

1. 当期の業況は前年同期（1年前）に比べて



全体: 好転17%、不変52%、悪化31%

製造業: 好転16%、不変47%、悪化37%

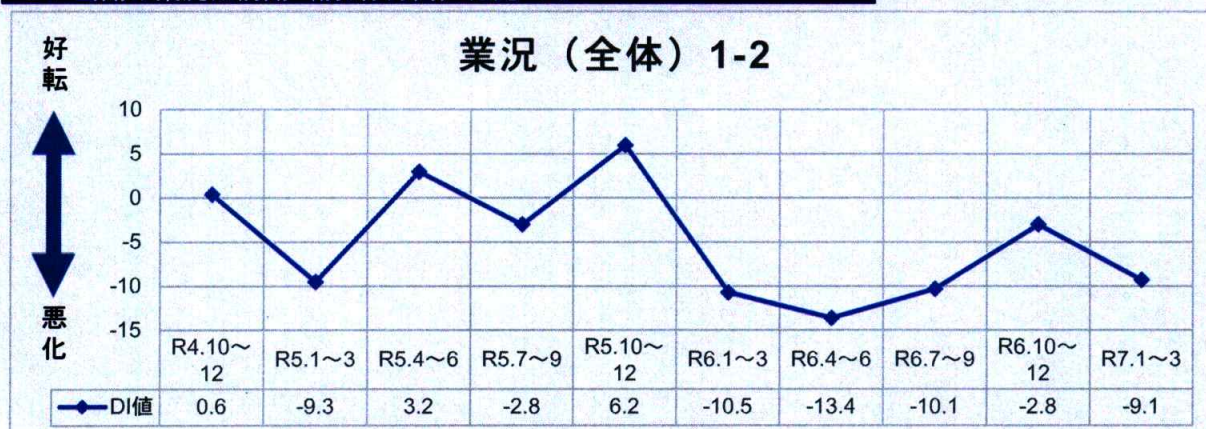
繊維工業: 好転25%、不変44%、悪化31%

建設業・設備工事業: 好転13%、不変67%、悪化20%

卸・小売業: 好転11%、不変39%、悪化50%

サービス業: 好転21%、不変67%、悪化12%

2. 当期の業況は前期（前3ヵ月間）に比べて



全体: 好転16%、不変57%、悪化27%

製造業: 好転13%、不変60%、悪化27%

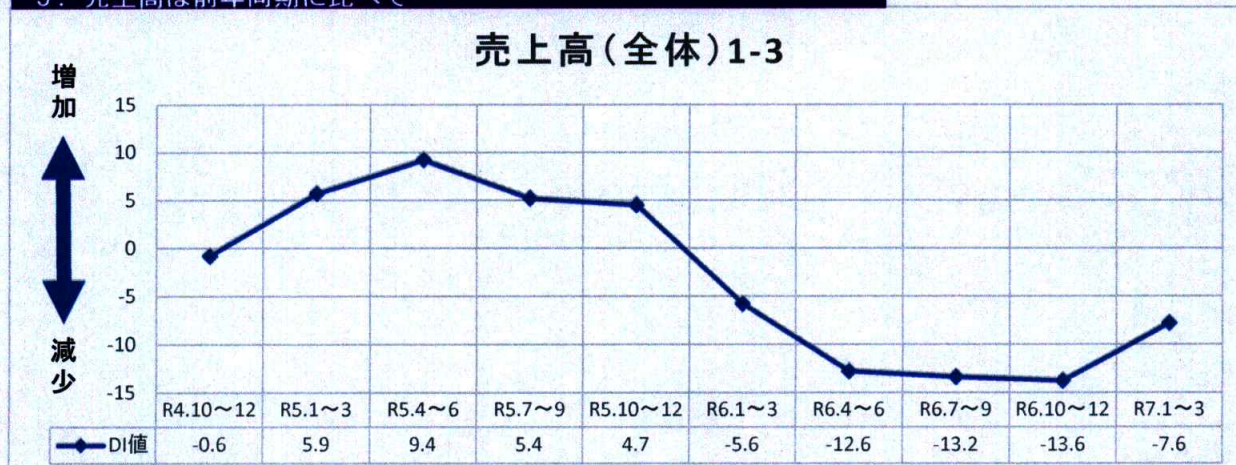
繊維工業: 好転19%、不変38%、悪化43%

建設業・設備工事業: 好転17%、不変70%、悪化13%

卸・小売業: 好転11%、不変36%、悪化54%

サービス業: 好転23%、不変67%、悪化10%

3. 売上高は前年同期に比べて



全体: 増加27%、不変37%、減少36%

製造業: 増加27%、不変27%、減少46%

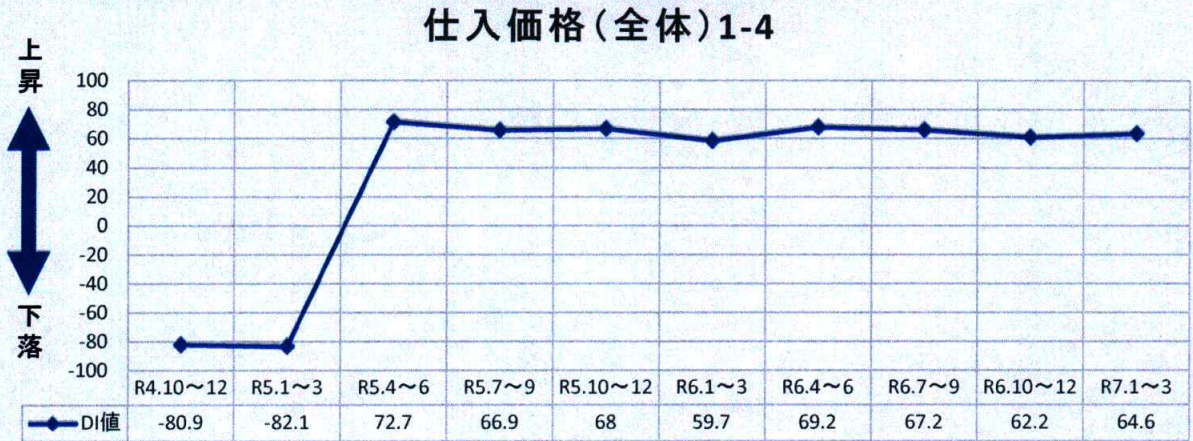
繊維工業: 増加19%、不変38%、減少43%

建設業・設備工事業: 増加23%、不変50%、減少27%

卸・小売業: 増加25%、不変29%、減少46%

サービス業: 増加36%、不変46%、減少18%

4. 仕入価格（原材料）は前年同期に比べて



全体: 上昇72%、不変26%、下落2%

繊維工業: 上昇75%、不変25%、下落0%

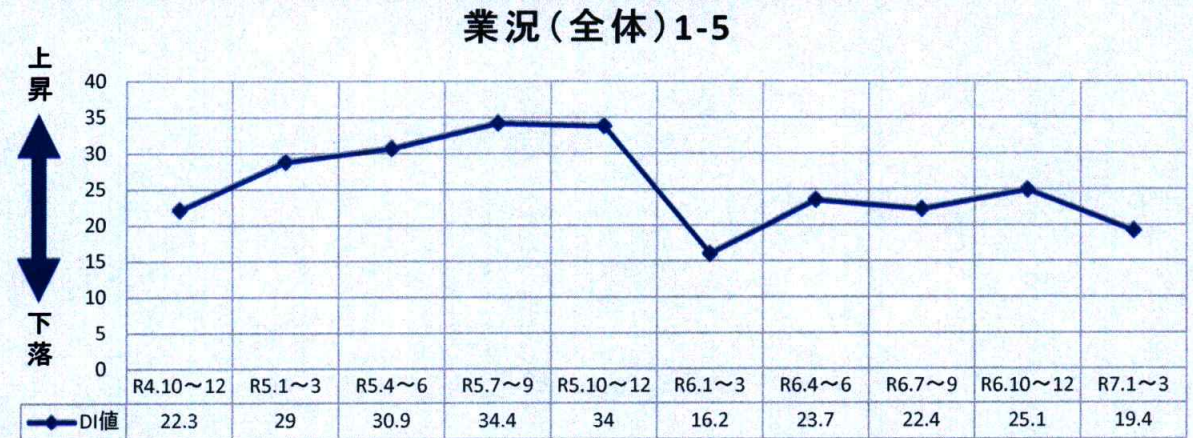
卸・小売業: 上昇79%、不変21%、下落0%

製造業: 上昇63%、不変32%、下落5%

建設業・設備工事業: 上昇80%、不変20%、下落0%

サービス業: 上昇74%、不変26%、下落0%

5. 受注・販売価格は前年同期に比べて



全体: 上昇35%、不変53%、下落12%

繊維工業: 上昇13%、不変65%、下落25%

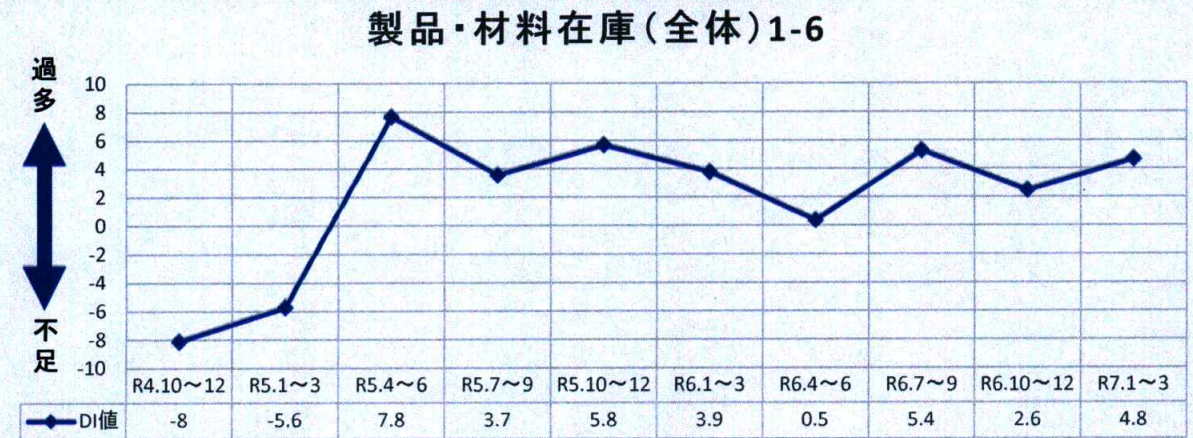
卸・小売業: 上昇32%、不変43%、下落25%

製造業: 上昇44%、不変48%、下落8%

建設業・設備工事業: 上昇37%、不変53%、下落10%

サービス業: 上昇31%、不変64%、下落5%

6. 当期の製品（材料）在庫は前年同期に比べて



全体: 過多10%、適正86%、不足4%

繊維工業: 過多6%、適正88%、不足6%

卸・小売業: 過多14%、適正71%、不足16%

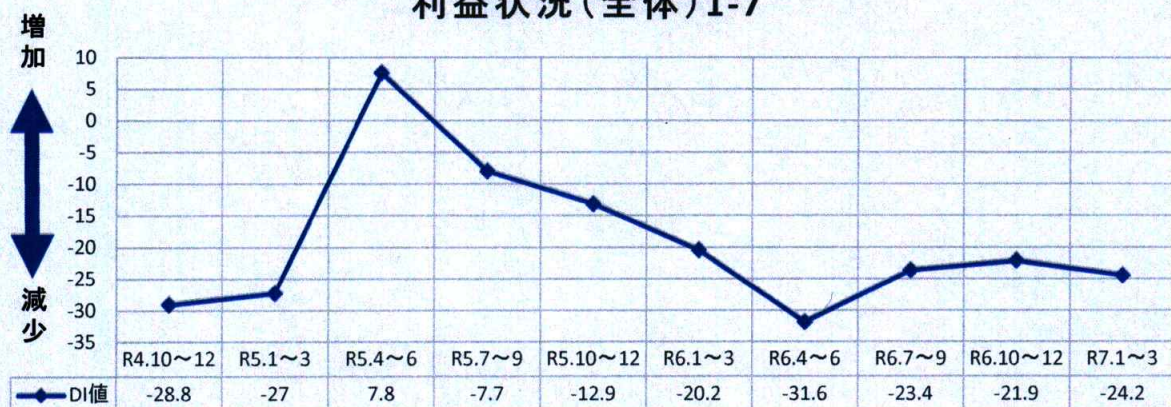
製造業: 過多18%、適正81%、不足12%

建設業・設備工事業: 過多3%、適正93%、不足4%

サービス業: 過多3%、適正97%、不足0%

7. 利益状況は前年同期に比べて

利益状況(全体)1-7



全体: 増加17%、不変39%、減少44%

繊維工業: 増加13%、不変31%、減少56%

卸・小売業: 増加11%、不変32%、減少57%

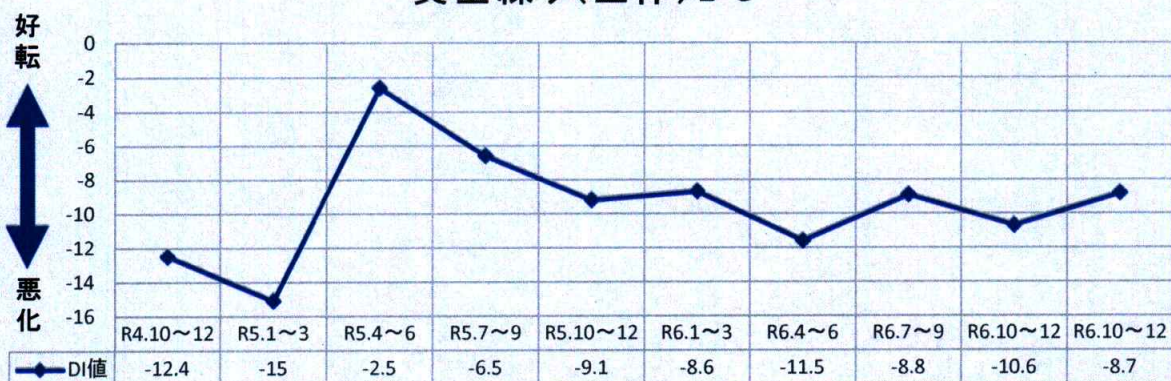
製造業: 増加16%、不変29%、減少55%

建設業・設備工事業: 増加17%、不変50%、減少33%

サービス業: 増加23%、不変56%、減少21%

8. 資金繰りは前年同期に比べて

資金繰り(全体)1-8



全体: 好転9%、不変71%、悪化20%

繊維工業: 好転0%、不変69%、悪化31%

卸・小売業: 好転14%、不変64%、悪化22%

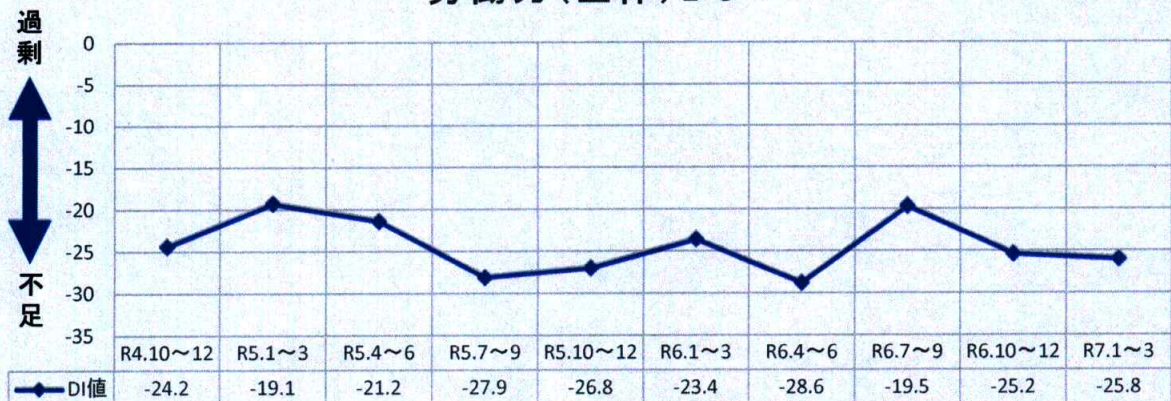
製造業: 好転10%、不変63%、悪化27%

建設業・設備工事業: 好転3%、不変87%、悪化10%

サービス業: 好転13%、不変77%、悪化10%

9. 労働力は前年同期に比べて

労働力(全体)1-9



全体: 過剰6%、適正58%、不足36%

繊維工業: 過剰0%、適正56%、不足44%

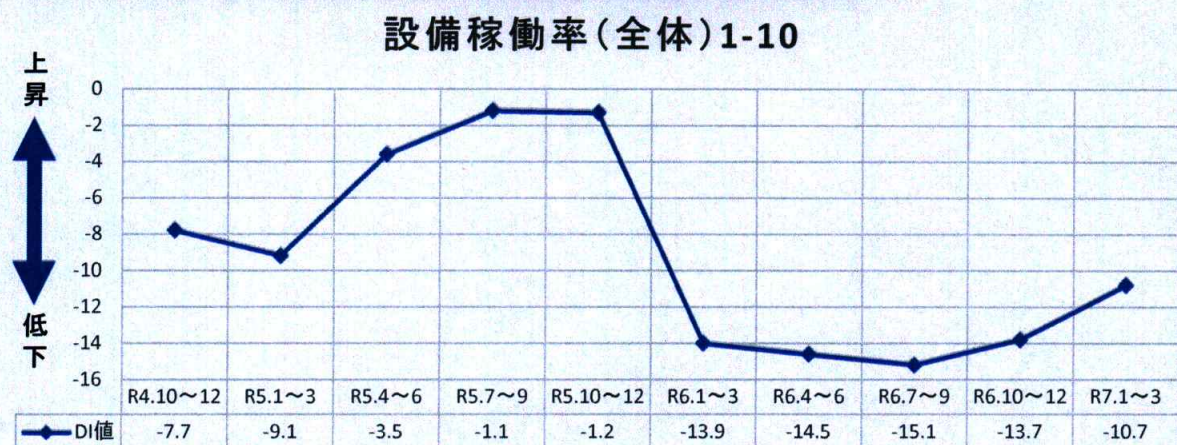
卸・小売業: 過剰7%、適正57%、不足36%

製造業: 過剰10%、適正65%、不足25%

建設業・設備工事業: 過剰6%、適正47%、不足47%

サービス業: 過剰0%、適正56%、不足44%

10. 設備稼働率は前年同期に比べて



全体: 上昇10%、不変67%、低下23%

繊維工業: 上昇6%、不変44%、低下37%

卸・小売業: 上昇4%、不変86%、低下10%

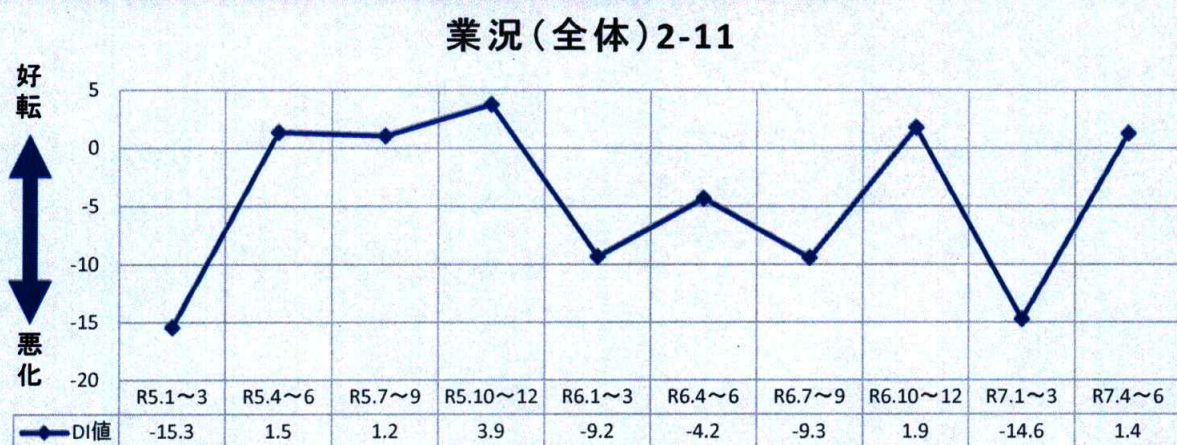
製造業: 上昇13%、不変50%、低下37%

建設業・設備工事業: 上昇3%、不変87%、低下10%

サービス業: 上昇10%、不変77%、低下13%

II. 今後3ヵ月間(令和7年4月~6月)の推移の予想について

11. 業況は当期(1月~3月期)に比べて



全体: 好転19%、不変64%、悪化17%

繊維工業: 好転24%、不変38%、悪化38%

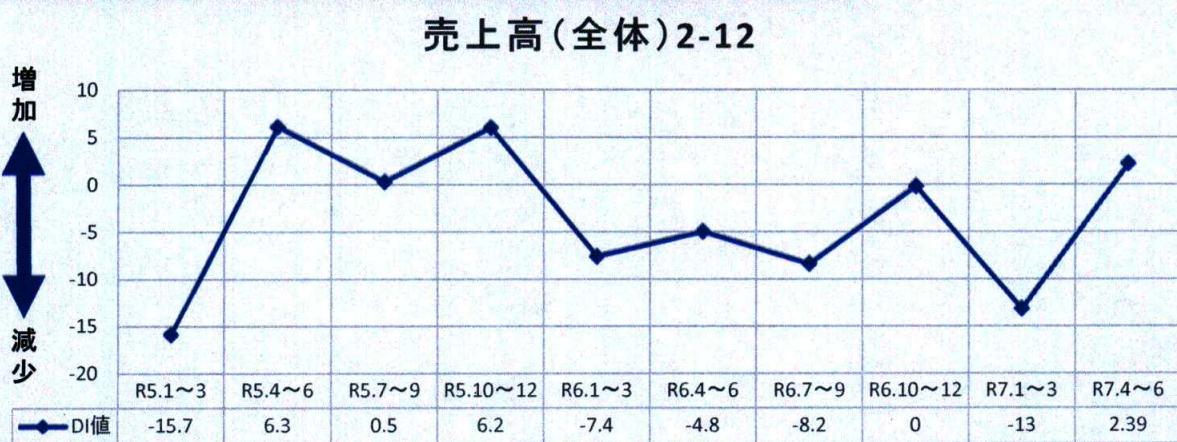
卸・小売業: 好転18%、不変54%、悪化28%

製造業: 好転18%、不変66%、悪化16%

建設業・設備工事業: 好転17%、不変77%、悪化6%

サービス業: 好転21%、不変69%、悪化10%

12. 売上高は当期(1月~3月期)に比べて



全体: 増加22%、不変58%、減少20%

繊維工業: 増加25%、不変38%、減少37%

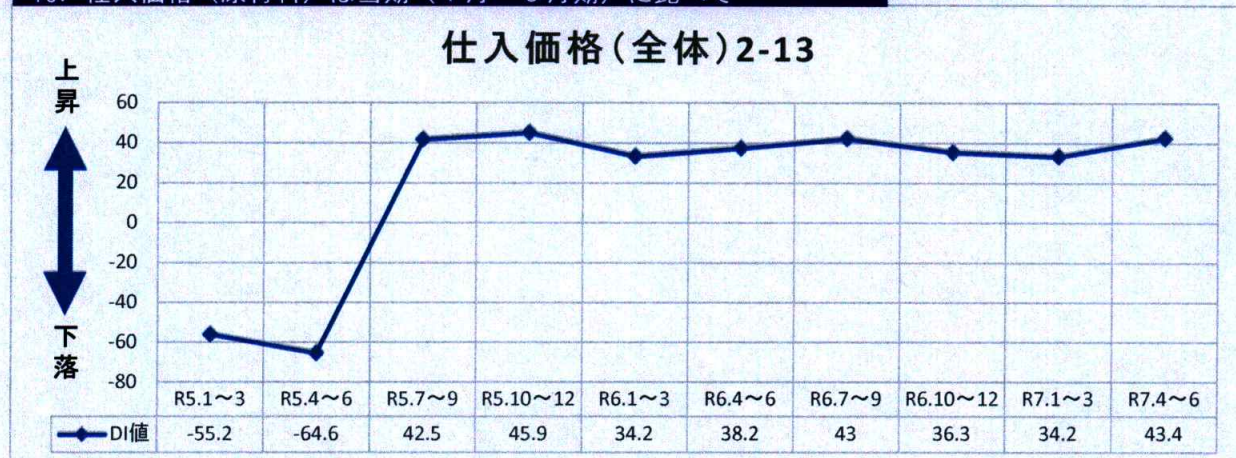
卸・小売業: 増加18%、不変54%、減少28%

製造業: 増加21%、不変63%、減少16%

建設業・設備工事業: 増加17%、不変77%、減少6%

サービス業: 増加21%、不変69%、減少10%

13. 仕入価格（原材料）は当期（1月～3月期）に比べて



全体：上昇51%、不変47%、下落2%

繊維工業：上昇56%、不変44%、下落0%

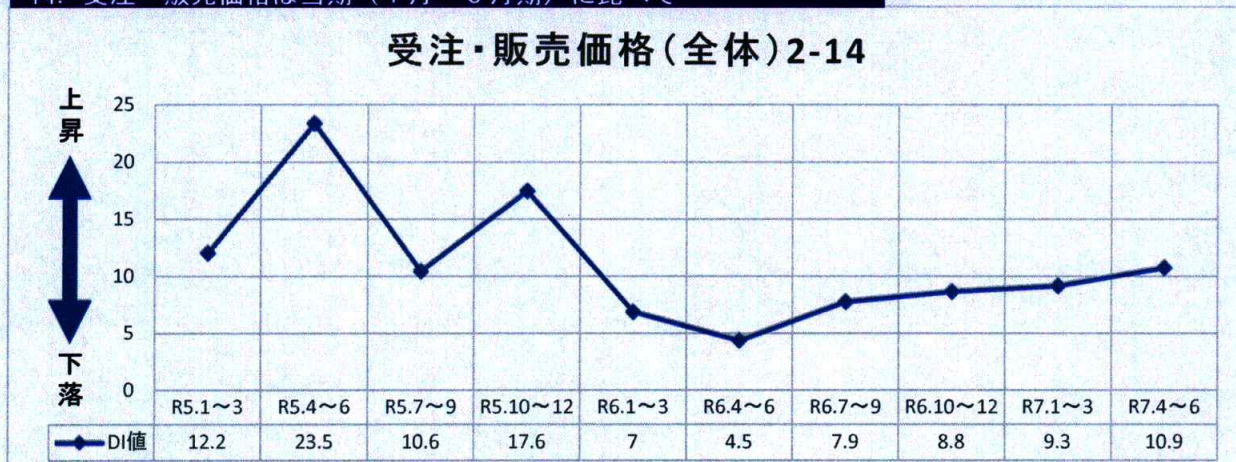
卸・小売業：上昇58%、不変42%、下落0%

製造業：上昇45%、不変52%、下落3%

建設業・設備工事業：上昇43%、不変57%、下落0%

サービス業：上昇46%、不変51%、下落3%

14. 受注・販売価格は当期（1月～3月期）に比べて



全体：上昇19%、不変76%、下落5%

繊維工業：上昇18%、不変65%、下落17%

卸・小売業：上昇39%、不変61%、下落0%

製造業：上昇13%、不変83%、下落4%

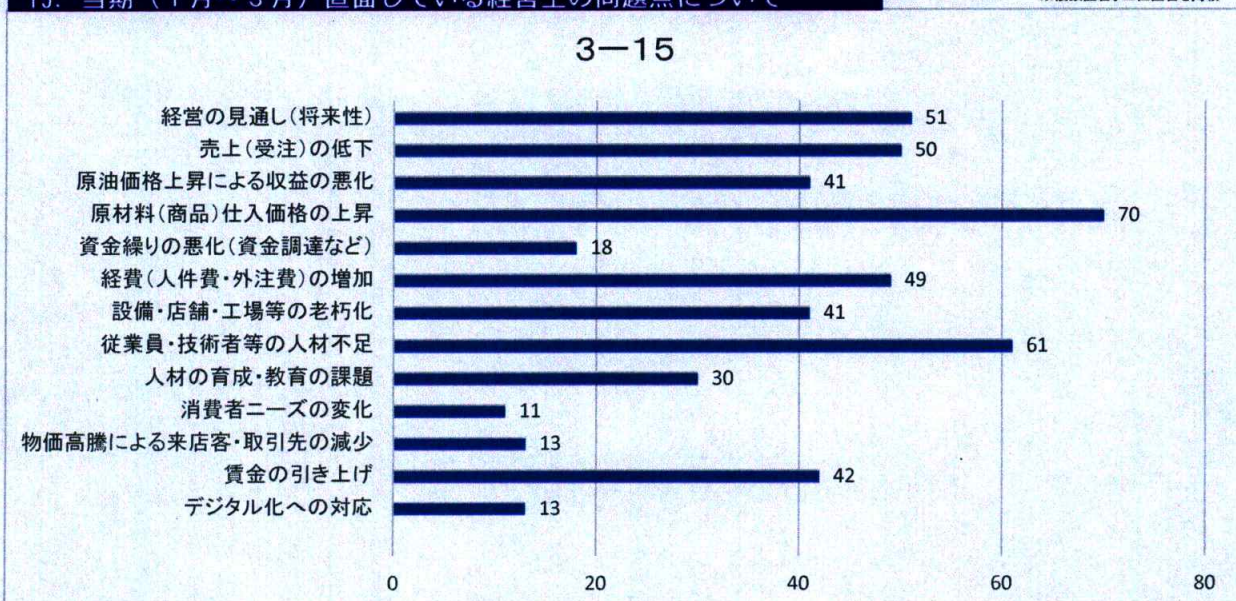
建設業・設備工事業：上昇7%、不変80%、下落13%

サービス業：上昇22%、不変73%、下落5%

Ⅲ. 当期直面している経営上の問題点

15. 当期（1月～3月）直面している経営上の問題点について

※複数回答。上位回答を掲載



〈概況〉

【令和7年1月～3月期 実績】

- 全体の業況におけるDI指数は-12.6ポイントで、前年同期-9.3ポイント(1年前)から比較し3.3ポイント減少。
- 当期の業況-9.1ポイントは前期-2.8ポイント(前3ヶ月)と比較して6.3ポイントを下げた結果となった。
- 売上高-7.6ポイントは前年同期-5.6ポイント(1年前)と比較し2.0ポイント減少。

当期の業況は、前の3カ月と比較すると、売上高は対前年比6.0ポイントを戻すも、当期全体の業況については、3カ月前、1年前比、ともにポイントを下げた結果となった。

【令和7年4月～6月期 見通し】

- 全体の業況におけるDI指数は1.4ポイント(前3ヶ月比16.0ポイント)と大きくポイントを戻し、明るい見通しを期待する結果となった。

【直面している経営の問題点】

- 前回調査と同様に長期化している「原材料(商品)仕入価格の上昇」を問題点として挙げる意見が最も多く、ほか「従業員、技術者等の人材不足」と続き、「人材の育成、教育の課題」を挙げる意見も多く、人材不足に苦慮する様子が伺えた。

【業況に関するコメント】

- ・仕入価格はまだまだ上昇の見込み。インフレ状態で売り先も価格転嫁はしている。春の賃上げは社員の定着を目指して実行の予定。利益は売上アップほど取れずに粗利益率は下がっている。(製造業)
- ・人手不足で今後、受注困難になる可能性あり(製造業)
- ・大手電機メーカーの内視鏡フレームの一部を独占して製造することとなった。5S活動を続けた賜物だと思う。(製造業)
- ・政府が賃金upするようと言っているが販売価格が上がらず原材料等upしているので、賃金upの原資など出せない。(製造業)
- ・原料価格の高騰は尋常ではありません。加えて円安の打撃は非常に痛いです。(製造業)
- ・政府は賃金引き上げと言うが、経済対策や景気回復を全く感じる事ができません！(製造業)
- ・世間では賃金アップと言ってるが現実には厳しい。工業団地等が出来て、新たな人口流入が望まれる。(卸・小売業)
- ・組合員の減少が課題 (サービス業)